ウィズあい 大垣

学びあい、教えあい、支えあい、助けあいみんなで一緒に男女共同参画社会づくりを進めましょう

2025 年（令和 7 年 1 月）第 28 号

大垣市男女共同参画センター「ハートリンクおおがき」では、性別による制約を受けず誰もがいきいきと暮らし活躍できる、男女共同参画社会の実現に向けて様々な取り組みや啓発活動を行っています。

毎年 11 月 12 日～11 月 25 日は、

「女性に対する暴力をなくす運動」期間

DV 街頭啓発

大垣駅通りで開催された、オオガキストリートフェスティバルに合わせて、街頭啓発を行いました。

相談窓口のリーフレットや啓発物品を配布し、女性に対する暴力をなくす運動を広く周知することができました。

パープルライトアップ

DV 根絶のシンボルである「パープルリボン」にちなんで、大垣城や大垣市役所東側「キューブモニュメント」等のパープルライトアップを行いました。

「ひとりで悩まず、まずは相談してください」というメッセージが込められています。

DV 防止に関する研修会

特定非営利活動法人 手をつなぐ女たちの会　理事 片桐　妙子さんを講師にお招きし、大垣市民生・児童委員協議会員を対象に、DV 防止に関する研修会を行いました。

「安全で心やすらぐ家庭を目指して ～DV と子どもの傷つきを知り、寄り添う～」と題した講演で、DV や子ども虐待等の早期発見と適切な対応について理解を深めるため、DV についての基本的な知識や、被害者に多く見られる特徴についてお話しいただきました。

令和６年度　男女共同参画フォーラム　分科会を開催しました！

第１分科会
知ろう、解かろう、認め合おう

と　　き：令和６年11月９日（土）　13:30 ～ 16:00
参 加 者：54名
企画運営：OILC（大垣国際女性サークル）

男女共同参画推進に関するテーマの視野を海外へ広げ、だれもが持てる力を発揮できるよう、大阪大学大学院研修生のミッラ・モラリウス氏をメインスピーカーに招き、母国フィンランドの男女共同参画についてお話をしていただきました。さらに、ミニシンポジウムでは、チェコ、ベトナムの男女の生き方についても考えました。

【内容】

「世界一幸福な国」とされるフィンランドは、ジェンダーギャップ指数も146ヶ国中２位で、女性の政治・経済分野での活躍など日本に比べて男女共同参画が進んでいると実感することが多い。しかし、女性のチームリーダーの比率に比べ、組織最上部の理事会メンバーや社長などの割合は低いところや、男女の職種の偏りにより収入の格差があるところ、「ガラスの天井」もいまだに存在することなど、まだまだフィンランドにも改善するべき点があるのも事実。みんながいきいきと活躍できる社会になるよう他国の状況も知りながら改善していけると良い。

【感想・参加者の意見】

歴史的な流れや人口構成、少子化など女性が働く機会均等や改革が必要になった国家では共働きが普通である。そのために必要な男女共同参画のための法制度は日本も整ってきている。それらを制度として活用するために、どのように社会全体の考え方や制度を変えていくことが課題である。

第２分科会
いきいきと働きたい！
～大垣からの発信～

と　　き：令和６年12月１日（日）　14:00 ～ 16:00
参 加 者：10名
企画運営：大垣夢ある女性の会

人口減少が進み、女性も男性もともに働くことが当たり前になりました。働くための法制度は整備されましたが、性別役割分担意識や無意識の思い込みは根強く、わたしたちがいきいきと働くことの妨げになっています。

講師にNPO法人参画プラネット 代表理事 渋谷 典子さんを迎え、「わたしたちはなぜ働くの？」をテーマに、男女がともに「暮らす」「働く」「生きる」を応援し合える仕組みについて考えました。

【内容】

ひとりひとりが実りある人生を過ごすために、「働く」ということについて考える。労働法は労働者を守る法律であり、味方につけるためにまず知ることが大切。しかし、法制度が整っても過労死や賃金格差などの問題点がある。そのような、働く人すべてが「ディーセントワーク（働きがいのある人間らしい仕事）」を実現するうえで問題となる、男社会の名残や男女の家事負担の偏りといった社会の仕組みについて、参加者が解消したいと思う優先事項を決め、話し合った。

【感想・参加者の意見】

過去の価値観をくずせない人もまだ多く、女性だけでなく男性にとっても人間らしい生き方、働き方ができていない現実がある。働くことへの安心を得られるよう、情報・相談・協力できる社会的システムづくりが大切だと思った。

令和６年度大垣市男女共同参画フォーラムのテーマは、「あなたがまちを変える ～地域の活力と魅力を生み出す男女共同参画～」です。男女が互いに尊重し、責任をわかち合い、いきいきと活躍することができる男女共同参画社会の実現に向けて考えましょう。

男女共同参画フォーラム全体会の開催に先立ち、４つの分科会を開催しました。

第３分科会
みんなの居場所がある地域
～いろいろな助け合いを考えよう～

と　　き:令和６年12月14日(土)　10:00 ～ 11:45
参 加 者:38名
企画運営:高齢社会をよくする女性の会岐阜・大垣支部

少子高齢化・核家族化・自治会加入率減少など地域コミュニティの衰退を克服するために、性別や世代に関係なく助け合う「みんなの居場所」づくりについて、地域で活動する方々からお話を聞き、交流会を行いました。

【内容】

木戸南さくら会（老人会）では、広範囲の移動が困難な方や独居の高齢者が集うことのできる「身近にある気軽な居場所づくり」としてサロンを運営。スタッフは中学生も含めたボランティアで、設備の補修やプレゼントづくりなどにそれぞれの経験や技能を活かし協力してもらうことで、みんなが活躍できる運営を心掛けている。

子ども食堂「かあさ」では、プレイパークや親もくつろげるカフェを併設し「自分らしくいられる居場所づくり」を行っている。公共施設でも民間でもない、地域のつながりや人材を活用し助け合って運営することで、制約を受けず多様な人の居場所をつくっている。

子ども会では、「子どもが楽しめる居場所づくり」を行っている。今の子どもたちはSNSの普及等に伴い、人と会話する機会が少ない。他団体もそれぞれの良さを出し、子どもが楽しんで多様な人々と関わりコミュニケーションをとれる居場所づくりを考えてほしい。

【感想・参加者の意見】

地域の人材を積極的に活用し、社会での経験を地域で還元するという、ひとりひとりが活躍できるつながりやネットワークを確立していることに感心した。安心して、だれもがいきいきと暮らせるよう、ひとびとがつながり、力を出し合い、楽しい居場所づくりをしていきたい。

第４分科会
その時、どうする！？
～男女共同参画の視点に立った避難所づくり～

と　　き:令和６年12月14日(土) 13:30 ～ 15:40
参 加 者:37名
企画運営:大垣人権擁護委員協議会(大垣市)

過去の災害を通して、災害時の避難所運営等における女性視点の必要性が認識されるようになってきました。男女のニーズの違いに配慮するとともに、男女どちらかが過度な負担を抱えることがないような避難所づくりについて、実践者である清流の国ぎふ女性防災士会 会長 伊藤 三枝子さんの講話を聞き、理解を深めました。

【内容】

避難所には、生活環境や救援物資、心身の健康や要配慮者が安心できる場所の確保など、解消すべき様々な課題があるが、その中に、食事の配膳は女性、避難所のリーダーは男性が良いというような無意識の思い込みも存在している。さらに、配慮して避難所につくられた女性専用ルームの待機職員が男性であり管理が行き届かないといった問題もあった。無意識の思い込みや、男女のニーズに違いがあることを認め、「もしも」の時に少しでも困らないために、防災訓練や避難所の運営委員会に男性も女性も積極的に参加し、今から話し合い等で備えておくことが大切である。

【感想・参加者の意見】

避難所での具体的な生活の状況を聞き、大変さを知ることができた。実際に災害が起きた時に、どう行動できるか分からないが、地域での話し合いに参加し役割分担に偏りがないか考えるなど、自分から今できる行動をしていきたい。

男女共同参画週間パネル展示

内閣府の「男女共同参画週間」（期間:毎年 6 月 23 日～29 日）に合わせ、男女共同参画社会について広く理解を深めるため、パネル展示を、ハートリンクおおがき及び南部サービスセンターオープンスペースで行いました。

内閣府啓発ポスターや全国女性の参画マップ、市主催事業「男性の家事応援講座」や「家事シェア推進講座」の紹介などを展示しました。

男性の家事応援講座

家庭の調理器具を使ってできる「手打ちそば」

男性の家事参加を促進するため、男性の家事応援講座を開催しました。

前年度、好評の声をいただいた、家庭にあるボウルやサランラップの芯などを使ってできるそば打ちを体験しました。前年度はあたたかいおそばでしたが、今年度はざるそばで試食しました。パートナーやお子さんと協力している姿が多く見られ、楽しい講座となりました。

【参加者の声】

・はじめてのそば打ち、とても楽しかったです。時そばの会の皆さんにサポートをいただき、おいしいそばを作ることができました。自宅に戻って再現し、家族にふるまえるように頑張ります。

・楽しくそば打ちが出来ました。
今度は自宅でチャレンジしたいです。

大垣市男女共同参画に関するメール配信サービス

男女共同参画センター「ハートリンクおおがき」等で実施する男女共同参画に関する講座やイベントなどの情報を配信しています。ぜひご登録ください。

◆編集・発行　大垣市市民活動部 男女共同参画推進室

電　　話：0584－47－8549

E メール：danjo@city.ogaki.lg.jp

－法務省　人権啓発キャッチコピー－　「誰か」のこと　じゃない。